

殺草スペクトラム

ブルーシアフロアブルは、一年生イネ科雑草全般、一年生広葉雑草全般に優れた効果を示し、特に除草が難しく、問題雑草とされる“イチビ”や“イヌホオズキ”にも卓効を示します。

雑草種別	イネ科	ヒユ科	キク科	タデ科	スベリヒユ科	ヒルガオ科	アカサ科	ナス科	ツユクサ科	アオイ科	ナシコ科	アブラナ科	カヤツリグサ科
適用雑草	メヒシバ オヒシバ アキノエノコロサ イヌヒエ	ホソアオケイトウ アオヒユ	オオフタクサ フタクサ ハキタメギク オナモミ	オオイヌタテ イヌタテ タニシバ	スベリヒユ	アサガオ類 シロサ	イヌホオズキ	ツユクサ	イチビ	コハコベ	オオツメクサ ツメクサ	ナスナ スカシタゴボウ	カヤツリグサ
薬量 50ml/10a	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	△	◎	○	◎	△

◎:効果極大、○:効果大、△:効果小(草丈が大きくなると効果低下)、×:効果なし
 ※薬量50ml/10aの場合、草丈20cm以下で◎となります。 ▶2012~2014年日補調委託試験、および石原産業中央研究所社内試験データより



問題雑草に対する効果

イチビ			
	散布前	処理12日後	処理28日後
	イヌホオズキ		
散布前		処理12日後	処理28日後

試験場所:長野県伊那市内園場
 処理日:2016年6月23日
 処理薬量:ブルーシアフロアブル50ml/10a
 処理時草丈:20cm

イチビ多発園場での試験事例

ブルーシアフロアブル 50ml/10a	A剤 150ml/10a

試験場所:北海道夕張郡
 処理日:2014年6月26日
 その他の処理薬剤:
 2014年5月11日に土壌処理剤を処理
 発生雑草:
 イヌビエ(優占)、イチビ(優占)、
 ツユクサ
 写真:処理20日後

登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤および トルピラレートを含む 農薬の総使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
飼料用とうもろこし	一年生雑草	とうもろこし3~5葉期 ただし、収穫45日前まで	40~50ml	通常散布 50~100ℓ 少量散布 25~50ℓ	1回	雑草茎葉散布 または 全面散布
		とうもろこし6~7葉期 ただし、収穫45日前まで	50~75ml	100~150ℓ		
とうもろこし		とうもろこし3~5葉期 ただし、収穫45日前まで	40~50ml	100ℓ		
		とうもろこし6~7葉期 ただし、収穫45日前まで	50~75ml	100~150ℓ		

使用上の注意事項

- ・使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ・使用の直前に、容器をよく振ってください。
- ・少量散布(25~50ℓ)の場合は、専用ノズルを使用してください。
- ・散布後、一時的にクロロシス症状を生じることがありますが、その後の生育、収量には影響しません。
- ・散布薬液の飛散によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布してください。
- ・雑草生育期に有効ですが、雑草が大きくなりすぎると効果が劣ることがあるので、時期を失しないように散布してください。
- ・雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないように均一に散布してください。
- ・散布後6時間以内の降雨は効果を低下させるので、天候に注意してください。
- ・使用後、タンク、ホース、ノズル内に薬液が残らないよう散布器具は十分に洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないよう注意してください。
- ・散布器具、容器の洗浄水等は河川に流さず、周囲に影響のない方法で処理を行い、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- ・本剤の使用に当たっては、使用量、使用時間、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

- ・眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。
 - ・眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - ・皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
 - ・散布の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
 - ・作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに、衣服を交換してください。
 - ・作業時に着用していた衣服等は、他のものと分けて洗濯してください。
 - ・かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 保管…密栓し、火気や直射日光を避け、食品と区別して冷蔵・乾燥した所に保管してください。
- 使用前にラベルをよく読んでください。
 - ラベルの記載以外には使用しないでください。
 - 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
 - 空容器は園場などに放置せず、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

※本印刷物は2021年3月時点での知見に基づいて作成しています。

ISK 石原産業株式会社

本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号 ☎(06)6444-7154 FAX(06)6444-7156
 中央研究所 〒525-0025 滋賀県草津市西波川2丁目3番地1号 ☎(077)562-3574 FAX(077)561-2024

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本社 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号(飯田橋グラン・ブルーム) ☎(03)6256-9170 FAX(03)3263-2078
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西1丁目1番地(サンメモリア) ☎(011)261-0211 FAX(011)271-3376
 仙台支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目1番41号(カメイ仙台中央ビル) ☎(022)227-6813 FAX(022)264-4585
 東京支店 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号(飯田橋グラン・ブルーム) ☎(03)6256-9190 FAX(03)3237-0571
 大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号 ☎(06)6444-1454 FAX(06)6441-0765
 福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神5丁目10番11号(イトーピア天神ビル) ☎(092)751-0432 FAX(092)761-5924

ホームページ アドレス <https://ibj.iskweb.co.jp>

0120 FreeDial 石原テレホン相談室 0120-1480-57



ISK 石原バイオサイエンス株式会社

ブルーシマ フロアブル



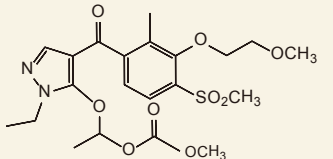
特長

幅広い殺草スペクトラム

- 殺草スペクトラムは一年生イネ科雑草、および一年生広葉雑草と幅広い草種に優れた効果を発揮します。
- 問題雑草の“イチビ”や“イヌホオズキ”にも優れた効果を示します。
- 雑草の色素生成過程を強く阻害するので、処理された雑草は白化したのち枯死します。
- 飼料用とうもろこし、およびとうもろこしの生育期に雑草茎葉処理ができます。

成分、性状、安全性

成分・性状

一般名	トルピラレート	人畜毒性 普通物* (製剤)	急性経口毒性	LD ₅₀ >2000mg/kg
試験番号	SL-573		急性経皮毒性	LD ₅₀ >2000mg/kg
有効成分含有量	10.4%		急性吸入毒性	ミスト LC ₅₀ >5.04mg/l
性状	類白色水和性粘稠懸濁液体		眼刺激性	軽度の刺激性あり(ウサギ♀)
系統	4-HPPD阻害	水生生物への影響 (製剤)	皮膚刺激性	軽度の刺激性あり(ウサギ♀)
構造式			皮膚感受性	あり(モルモット♀)
			オオミジンコ	EC ₅₀ 206mg/l (48hr)
化学名	(RS)-1-[1-エチル-4-[4-メシル-3-(2-メトキシエトキシ)-o-トルオイル]-1H-ピラゾール-5-イルオキシ]エチル=メチル=カルボナート		コイ	LC ₅₀ 390mg/l (96hr)
			藻類	ErC ₅₀ 36.3mg/l (72hr)

*毒劇物に該当しないものを指している通称

作用機作

ブルーシアフロアブルの有効成分トルピラレートは、植物の葉部、莖部、茎葉基部より速やかに吸収されます。トルピラレートは植物の4-HPPD(4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ)の活性を阻害します。4-HPPDの活性が阻害されると、植物は光合成で重要な役割を担うプラストキノンやカロチノイドを生成することができなくなり、茎葉部の白化を経て枯死に至ります。

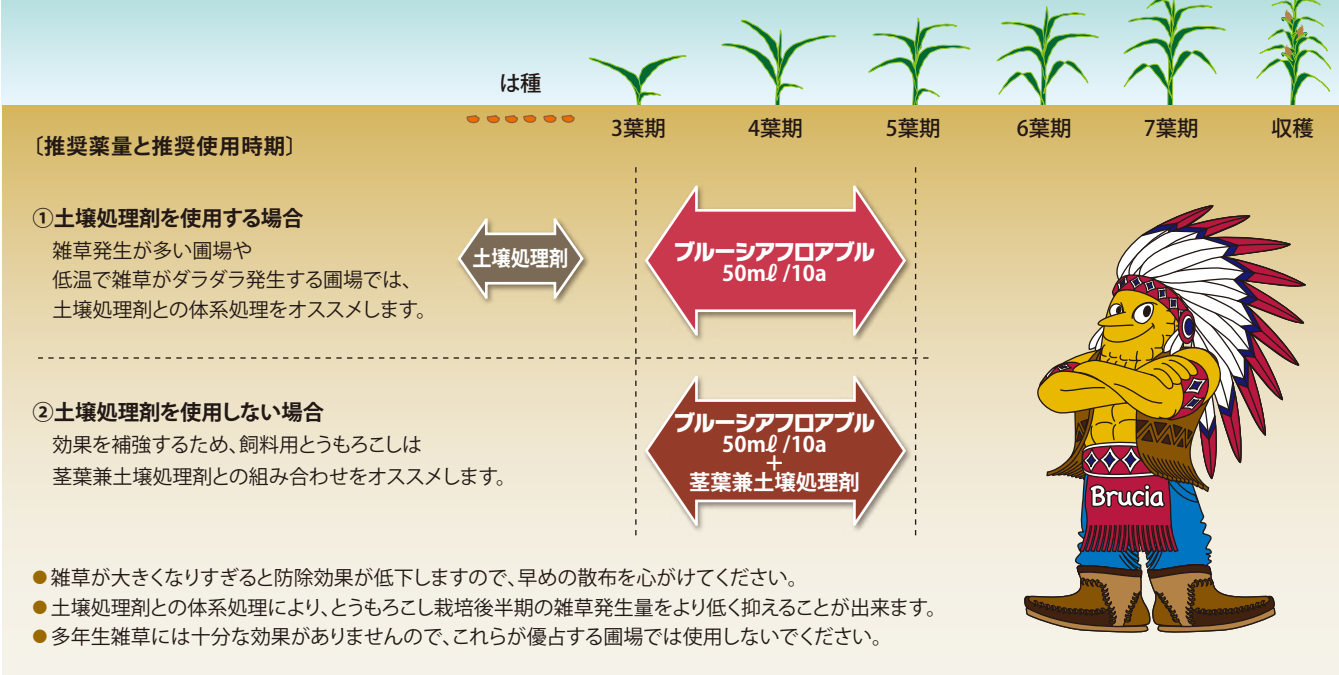
雑草に対しては、トルピラレートによる4-HPPDの阻害によって高い除草効果が期待できますが、飼料用とうもろこしやとうもろこしは、トルピラレートを4-HPPD阻害活性を有しない代謝物へと迅速に分解できるため、高い選択性、安全性を持つことが確認されています。

《薬剤散布～枯死まで》



上手な使い方

【とうもろこしの生育イメージ】



土壌処理剤との体系処理の事例



試験場所：
岩手県一戸町
播種：2015年5月28日
土壌処理剤処理日：
2015年6月1日

ブルーシアフロアブル
処理時の圃場の様子



土壌処理剤
→ブルーシアフロアブル50ml/10a
(写真：ブルーシアフロアブル処理30日後)



土壌処理剤単用区
(写真：土壌処理剤処理51日後)

希釈水の水質(硬度、pH)差による効果、葉害への影響について

● 硬度の違いについて

ブルーシアフロアブルを異なる硬度の水(硬度:50mg/l、100mg/l、150mg/l、蒸留水)でそれぞれ希釈し、作物への葉害、および雑草への除草効果を確認した社内試験において、いずれの水でも薬効および葉害に差は無く、硬度による影響は少ないと考えられます。

● 酸性、またはアルカリ性希釈水による安定性について

ブルーシアフロアブルを異なるpHの希釈水(pH4、pH7、pH9)でそれぞれ希釈し、除草効果を確認した社内試験において、いずれのpHでも同等の除草効果を示しました。従って、ブルーシアフロアブルは希釈水のpHによる効果への影響は少ないと考えられます。

とうもろこしへの安全性

とうもろこしの各品種に影響が少なく、二期作用の品種にも使用できます。ただし、ポップコーンには葉害の懸念があるため使用を控えてください。なお、処理時の環境条件によっては一時的なクロロシス症状を生じる場合がありますが、その後の生育や収量には影響ありません。

土壌中での分解性

本剤は比較的早く分解し、圃場試験におけるトルピラレート、および代謝物合計の推定半減期は4～13日です。下記の条件下における後作物への影響確認試験でも、全ての作物で影響はありませんでした。

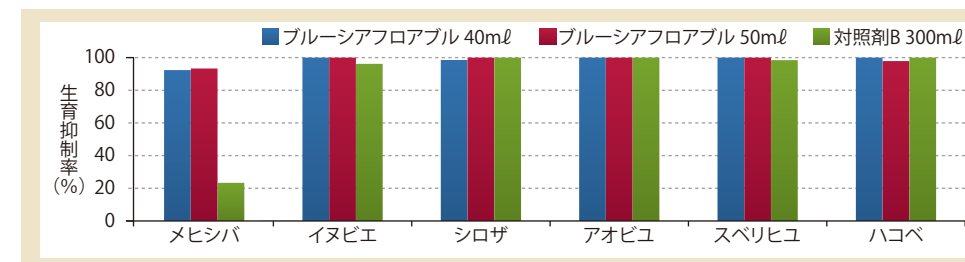
試験条件：ブルーシアフロアブル100ml/10a(登録量の倍量)を土壌に処理し、処理50日後に各作物を播種(または定植)し、その後の葉害発生および生育状況を確認した。

供試作物：レタス、キャベツ、白菜、かぶ、だいこん、ブロッコリー、カリフラワー、こまつな、チンゲンサイ、春菊、ほうれんそう、にんじん、さやえんどう、小麦、なたね、えんばく、ソルゴー、イタリアンライグラス

結果：全ての供試作物で影響はみられませんでした。

圃場試験データ

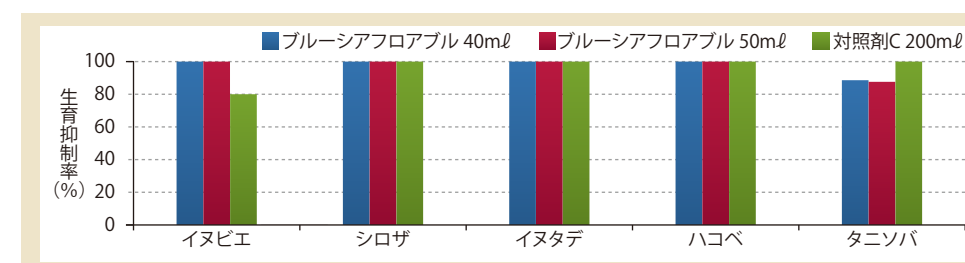
■ 平成24年 岩手県農業研究センター畜産研究所



品 種：セシリア
処理時の発生雑草：
・メヒシバ5葉期(12.6cm)
・イヌビエ6葉期(5cm)
・シロザ6葉期(4.8cm)
・アオビユ6葉期(4.5cm)
・スベリヒユ3葉期(2.8cm)
・ハコベ2葉期(3.2cm)

処 理 日：6月14日
調 査 日：7月4日
散布水量：100ℓ/10a

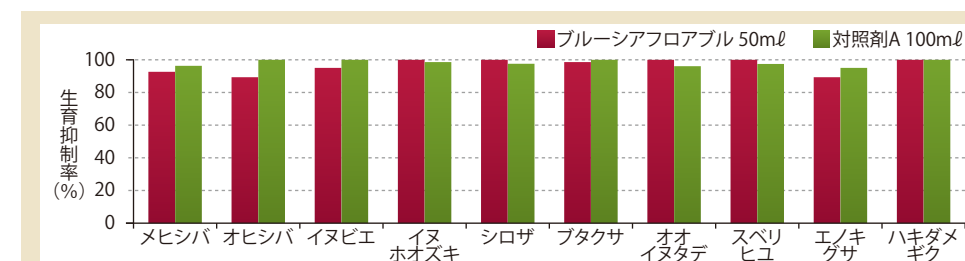
■ 平成26年 日植調十勝試験地



品 種：39H32
処理時の発生雑草：
・イヌビエ5.5葉期(16cm)
・シロザ3.5葉期(10cm)
・ハコベ(5cm)
・タニシバ4葉期(4cm)

処 理 日：6月14日
調 査 日：7月4日
散布水量：100ℓ/10a

■ 平成27年 石原産業(株)中央研究所



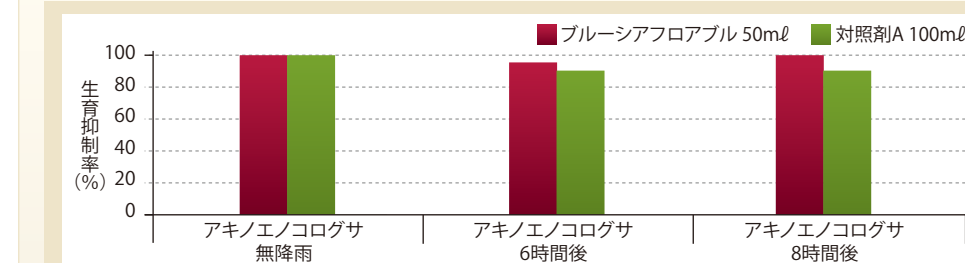
品 種：P-1543
処理時の発生雑草：
・メヒシバ(5cm)
・オヒシバ(4cm)
・イヌビエ(5.5cm)
・イヌホオズキ(1cm)
・シロザ(3cm)
・ブタクサ(3cm)
・オオイヌタデ(3cm)
・スベリヒユ(3cm)
・エノキ(3cm)
・ハキダメギク(3cm)

処 理 日：5月27日
調 査 日：6月25日
散布水量：100ℓ/10a



耐雨性

ブルーシアフロアブル散布後6時間以上経過していれば、効果に影響はありません。(社内試験データ)



試験条件：プラスチックポット3連
降雨条件：人口降雨装置を使用し、6時間後、8時間後に10mm/h設定で降雨処理した。
散布水量：100ℓ/10a
調 査：処理25日後に殺草程度を評価